

授業科目名： 英語科指導法Ⅳ	教員の免許状取得のための 必修科目（中学校英語） 選択科目（高等学校英語）	単位数： 2単位	担当教員名： 大和 洋子 担当形態：単独
実務内容 （実務家教員の場合）			
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校 英語）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <p>星槎大学は、「人を認める、人を排除しない、仲間を作る」という三つの約束のもと、「人と人、そして人と自然とが共生する社会の創造に貢献する」を教育理念としています。共生科学部は、この三つの約束、教育理念に基づき、「21世紀を創造する広く深い知の涵養」「共生する心の耕作」「課題探究能力の育成」「インクルージョン教育に基づいた社会実践を担い、社会変革を目指す人材の養成」を教育目的とし、以下の「星槎共生スピリット」を身に付けたものに学位を授与します。</p> <p>A. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。</p> <p>B. 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。</p> <p>C. 共感理解教育の理念を認識し、実践すること。</p> <p>D. 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。</p> <p>E. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。</p> <p>F. 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。</p>			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>・英語の音声、文字、語彙、表現、文法に関する教材・ICT活用と指導方法について実践的な知識と技能を身に付けるとともに、異文化理解に関する教材、指導方法を身に付ける。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>・英語科指導法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの内容を踏まえて、主に英語の音声、文字、語彙、表現、文法、異文化理解について、各自の実践力を高めるとともに、具体的な教材活用、指導方法を学ぶ。</p> <p>・スクーリングにおける演習を通して、各自の実践力、教材・ICT活用と指導方法について自己評価・相互評価を行う。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：英語科指導法Ⅳの学修ポイント</p> <p>第2回：「英語の音声」を軸とした実践力の向上</p> <p>第3回：「文字」を軸とした実践力の向上</p> <p>第4回：「語彙、表現」を軸とした実践力の向上</p> <p>第5回：「文法」を軸とした実践力の向上</p> <p>第6回：「英語の音声」の教材・ICT活用、指導</p> <p>第7回：「文字」の教材・ICT活用、指導</p>			

第8回：「語彙、表現」の教材・ICT活用、指導

第9回：「文法」の教材・ICT活用、指導

第10回：「英語の音声」指導演習

第11回：「文字」指導演習

第12回：「語彙、表現」指導演習

第13回：「文法」指導演習

第14回：指導演習の振り返り

第15回：「異文化理解」の教材、指導

定期試験

※スクーリングでは第10回～第13回を扱う。

教科書

小田寛人、江藤秀一 編『授業力アップのための英語授業実践アイデア集』開拓社

参考文献

- ・文部科学省『中学校学習指導要領〈平成29年告示〉解説 外国語編』開隆堂出版
- ・文部科学省『高等学校学習指導要領〈平成30年告示〉解説 外国語編』
- ・岡秀夫編著（2020）『新・グローバル時代の英語教育—新学習指導要領に対応した英語科教育法—』成美堂（英語科教育法Ⅰ教科書）
- ・『新学習指導要領にもとづく英語科教育法 第3版』（大修館書店）
（英語科教育法Ⅱ教科書）
- ・『プロ教師に学ぶ真のアクティブ・ラーニング—“脳”動的な英語学習のすすめ』（開隆堂）
（英語科教育法Ⅲ教科書）
- ・『主体的・対話的で深い学びを実現する! 英語授業の発問づくり』（明治図書出版）
- ・『使える英語がどんどん身につく! 中学英語4技能ペア&グループワーク』（学陽書房）
- ・『アクティブ・ラーニングを位置づけた中学校英語科の授業プラン』（明治図書出版）
- ・神保尚武監修（2020）『「教師の自己評価」で英語授業は変わる』（大修館書店）← 強くお勧めします。
- ・言語教師のポートフォリオ【英語教職課程編】
<http://www.waseda.jp/assoc-jacetededu/> にてダウンロード可

学生に対する評価

レポート評価（25%）、スクーリング評価（25%）、科目修得試験（50%）を総合して評価する。